

経済・金融  
フラッシュユーロ圏失業率(2024年5月)  
—過去最低水準で横ばい推移

経済研究部 主任研究員 高山 武士

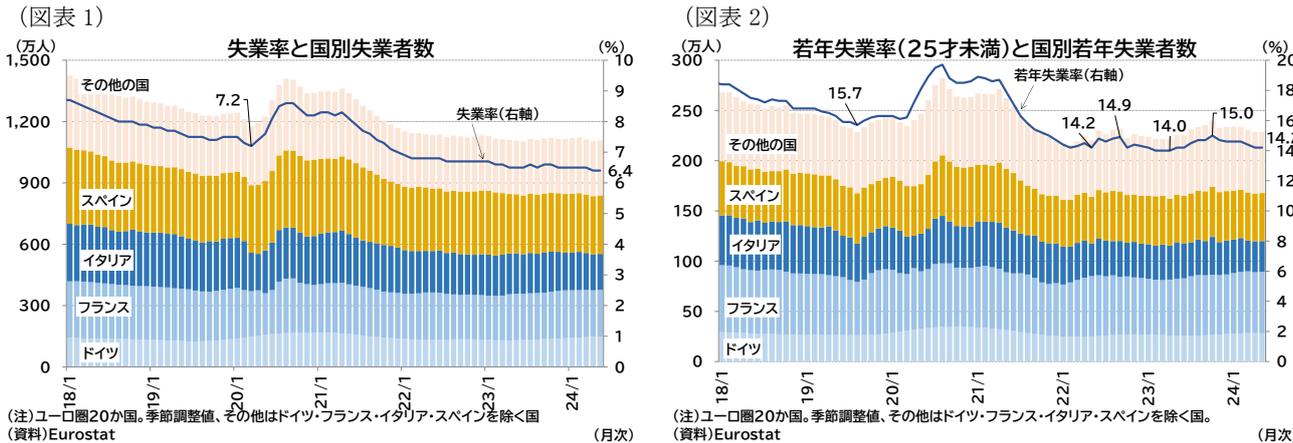
TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

## 1. 結果の概要:失業率は6.4%の過去最低値で横ばい推移

7月2日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

## 【ユーロ圏失業率（20か国、2024年4月、季節調整値）】

- ・失業率は6.4%、市場予想<sup>1</sup>（6.4%）と一致、前月（6.4%）から横ばいだった（図表1）
- ・失業者は1107.8万人となり、前月（1104.0万人）から3.8万人増加した



## 2. 結果の詳細:コロナ禍前との比較ではスペインの失業者減少が目立つ

ユーロ圏（20か国）の5月の失業率は6.4%となり、4月（6.4%）から横ばい、統計データ公表以来の最低値で推移している。なお、4月以前のデータにはほぼ改定がなかった。

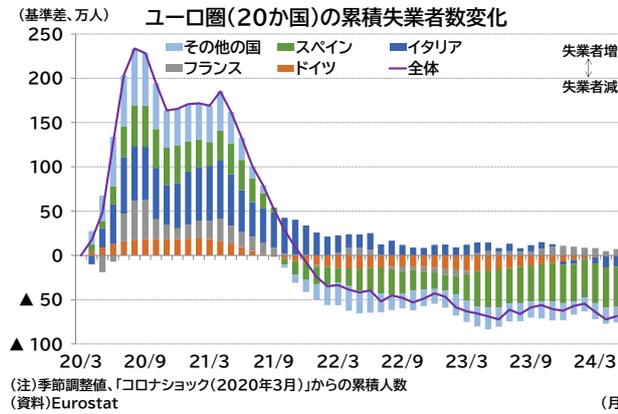
失業者数は5月の前月差で3.8万人増となり、前月の減少（▲8.5万人）から増加に転じた。主要4か国で見ると、フランス（2.3万人）、ドイツ（0.6万人）、スペイン（0.6万人）、イタリア（▲0.0万人）となり、フランスの失業増が全体の失業者を押し上げる形となった。なお、コロナ禍前より失業者数は60万人程度少なく、国別にはスペインの失業者数の減少が目立つ（図表3）。

5月の若年失業率は14.2%となり、4月（14.2%）から横ばいだった（前掲図表2）。また、若年失業率の過去データは、足もと若干だが悪化方向に改定された（4月14.1%→14.2%、3月14.3%→14.4%）。若年失業者数は5月で228.7万人（前月差0.3万人）となり4月までの3か月連続の前

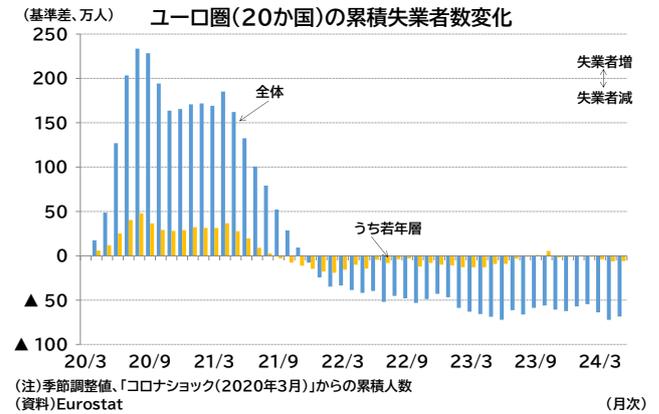
<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

月比減少の後、増加に転じた。若年失業者数の水準はコロナショック直前（20年3月の234.7万人）を下回る状態で推移している（図表4）。

（図表3）

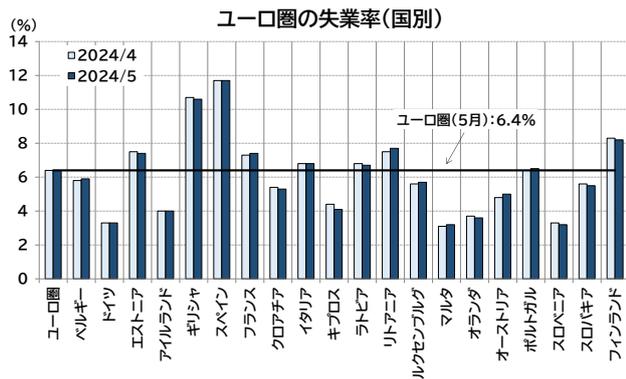


（図表4）



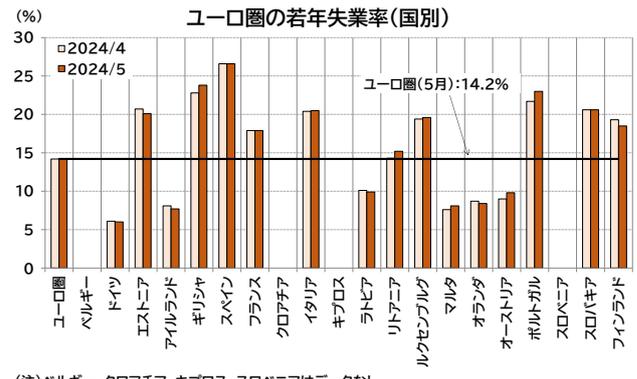
国別の5月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が7か国、改善が9か国、横ばいが4か国だった（図表5）。若年失業率は公表されている16か国中、悪化した国が7か国、改善が6か国、横ばいが3か国だった（図表6）。失業率は改善した国がやや多く、若年失業率は悪化した国の方がやや多かったが、足もとでは改善も悪化もほぼ同数で推移している。

（図表5）



(資料)Eurostat

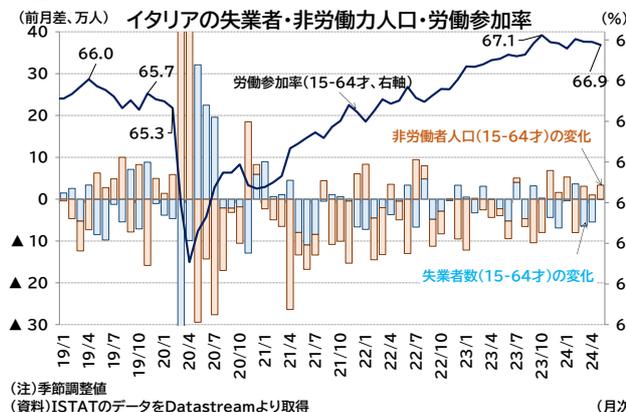
（図表6）



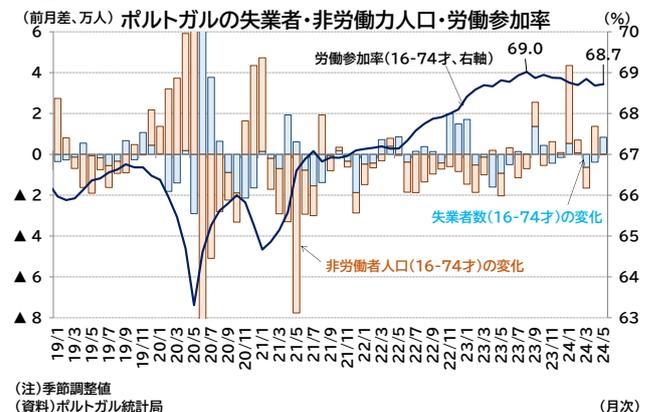
(注)ベルギー、クロアチア、キプロス、スロベニアはデータなし  
 (資料)Eurostat

最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が概ね横ばいで雇用者が減少し、非労働力人口が増加した（図表7）。ポルトガルは失業者が増加する一方、雇用者と非労働力人口がわずかに減少している（図表8）。労働参加率はイタリアもポルトガルも、コロナ禍後のピークほどではないが、高めの水準に位置している。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。